

令和7年度 やまぐち若者 MY PROJECT 募集要項

1 目的

高校生が、自分の身近にある課題を主体的に発見し、課題解決に向けた実践を通して、解決に向けてプロセスを描く力や失敗を恐れずに挑戦し続ける力、立場や意見の違いを超えて互いにより良い解決策を求めて話し合うコミュニケーション能力等を育成する。

また、「全国高校生 MY PROJECT AWARD 2025 全国 Summit」に出場する代表プロジェクトを選出する。

2 対象および人数

県内の高校生またはそれに準ずる年齢の方(※学校での課題研究、部活動や地域でのプロジェクト活動、個人での活動など、ジャンルを問わず、プロジェクトに取り組んでいる、または取り組みたい方を対象とする。)

第1次募集 (すべてのプログラムに参加)・・・20プロジェクト(100名程度) 1PJ:最大5名程度

第2次募集 (やまぐち探究サミットのみに参加)・・・40プロジェクト(200名程度)

3 実施概要

| 第1次募集 | 第2次募集 | 開催日時 (場所) | プログラム内容 |
|-------|-------|---|--|
| ○ | — | 8月3日(日) 10:00~16:00 (場所: YMfg維新セミナーパーク) | スタートアッププログラム 「やまぐち若者 MY PROJECT」の全体像を理解し、メンターとの対話をとおして自分の興味・関心や問題意識を探索するためのアクション計画をたてる |
| ○ | — | 8月~12月 各プロジェクトで実施 | プロジェクト実践 地域の大人や学校等を巻き込みながらプロジェクトを実践する |
| ○ | — | 9月19日(金) 11月11日(火) 各日19:30~21:30 (オンライン) | 探究ゼミ①② プロジェクトに役立つテーマに精通しているメンターによる「専門ゼミ(講話・対話質疑)」、および高校生がプロジェクトについてメンターに相談できる「なんでも相談ゼミ」に参加する |
| ○ | ○ | 10月15日(水) ~12月5日(金) | リフレクションフォームの提出 これまで実践してきた探究活動をとおして得た学びや気持ちの変化について振り返り、言語化する |
| ○ | ○ | 12月21日(日) 10:00~16:00 (オンライン) | やまぐち探究サミット Day1 “リフレクション対話&プロジェクト発表” アクションを起こしたからこそ見えてきた学びについて発表スライドを基に発表・共有し、メンターとの対話をとおして、学びを振り返り深掘りする 未来への宣言ミニフェス |
| ○ | ○ | 令和8年2月1日(日) 9:00~16:00 (場所: YMfg維新セミナーパーク) | やまぐち探究サミット Day2 “リフレクションワーク&プロジェクト発表” *リフレクションフォームによる選考にて参加者を決定 プロジェクト実践を振り返り互いに学び合うワークを実施するとともに、プレゼン発表をする20プロジェクトの中から全国サミットへの参加チームを決定する |

*「やまぐち探究サミット (Day2)」で選出されたチームは認定 NPO 法人カタリバが運営する「全国高校生 MY PROJECT AWARD 2025 全国サミット」(3月)に参加。全国から48プロジェクトが参加し、文部科学大臣賞(1プロジェクト)などを授与される。

4 申込方法

「山口県ひとづくり財団」のホームページから申込希望者がお申し込みください。
*プロジェクトから複数のメンバーが参加を希望する場合も、代表者のみではなく希望者全員が申し込みください。



☆第1次募集に応募するプロジェクトは、リフレクションフォームの提出まで確実に参加してください。

5 申込期間

第1次募集 令和7年5月19日(月)～6月30日(月)

第2次募集 令和7年11月頃(予定) 詳しくは後日財団HP (<https://hito21.jp/>) に掲載します。

6 経費等

参加費は無料です。なお、会場までの交通費、通信料等参加に係る経費は御負担ください。

7 その他

- ・第1次募集(定員20PJ)、第2次募集(定員40PJ)それぞれについて、定員を超える応募があった場合は原則先着順としますが、同校から多数応募の場合は学校に調整をお願いする場合があります。
- ・この事業は山口県ひとづくり財団が主催し、一般社団法人motibase、認定NPO法人カタリバ、山口県、山口県教育委員会と連携して実施します。
- ・各プログラム参加時にPCやタブレットなどの通信機器やネット環境が必要になります。参加者のネット環境については、参加決定後に確認し、事前に接続テストを行います。

使用予定のツール：ビデオ会議システム (Zoom)、コミュニケーションツール (LINE オープンチャット)
使用機器：タブレット・PC (カメラ・マイクの機能付属) などの大きな画面で、一人1台が望ましい
通信環境：Wi-Fi 環境があることが望ましい (Zoomは3時間で1GB程度)

- ・天候、その他の事情により、内容、時間等を変更する場合があります。

【メンターとは】

参加者の想いに寄り添いながら経験と学びを最大化させる存在です。実践と学習のサイクルの中で、状況に応じて次のような役割を担います。

1 姿勢

- ・一番の応援者として、参加者に寄り添う。
- ・否定ではなく、共感や質問によって、参加者と共に活動の意味を創っていく。

2 役割

(1) 聴く

- ・参加者たちの声に耳を傾け、想いを聴く。
- ・対話を通して、参加者自身の整理につなげる。

(2) 問う

- ・なにをするのか、なんのためにするのかを問う。
- ・問いかけることで、目的や手法など、参加者自身が改めて思考する機会をつくる。

(3) 伝える

- ・良い点や、魅力に思ったことはその場で伝える。
- ・自分の経験を生かして別の視点からの考えを参加者に伝える。

(4) 整理する

- ・振り返りを促し、経験や学びを整理させる。
- ・できたこと、できなかったこと、そこからわかったことなどの言語化を支援する。

【問合せ先】

(公財)山口県ひとづくり財団 県民学習部

担当：國清、田原、研(はつく)

TEL：083-987-1710 Email：yh-kengaku@hito21.jp